

## 第239回研究科委員会・第345回教員会議 議事要録

日時：令和4年12月7日（水） 13：30～15：15

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議題

### ◆研究科委員会◆

冒頭、研究科長から大学院関連について教育研究評議会資料に基づき報告があった。最初に、大学院の改革に関して資料1-1に基づき、学長から定員未充足及び定員超過について説明があったとの報告があった。また、資料1-6に基づき、大学院のガバナンスについて理工学研究科からの意見について紹介があった。次に、大学院改革により生じる学内組織運営における変更等について、資料2-1に基づき報告があり、法定会議、重要な学内会議（評議会等）の研究科委員長参画等の提案について説明があった。また、各学類の評議員を2名から1名に削減するという提案があったことも報告された。

#### [審議事項]

##### 1. 研究科長

###### (1) 研究科長候補適任者の選出について

単記無記名で投票を行った。投票の結果、得票数上位2名（21票、10票）を学長へ報告することとなった。

##### 2. 入学試験委員会

###### (1) 令和5年度大学院入試（第Ⅱ期募集）合否判定について

11月26日（土）に実施された入試について、回収資料に基づいて説明があった。博士前期課程（一般入試）について、共生システム理工学専攻は合格者9名（志願者10名、受験者10名）、環境放射能学専攻は合格者1名（志願者1名、受験者1名）としたいとの提案があった。審議の結果、提案通り承認された。次に、博士後期課程（社会人特別入試）について、共生システム理工学専攻は合格者1名（志願者1名、受験者1名）としたいとの提案があった。審議の結果、提案通り承認された。

###### (2) 令和5年度共生システム理工学研究科（博士前期課程・博士後期課程）

###### 第Ⅱ期追加募集の実施について

資料1に基づき、前期及び後期課程においていずれも若干名を募集し、試験日を令和5年2月27日（月）としたい、との提案があった。特に意見等はなく、提案通り承認された。

##### 3. 教務委員会

###### (1) 令和4年度3月修了修士論文審査委員について

資料2に基づき、各学生の研究題目及び論文審査委員について説明があり、提案通り承認された。

###### (2) 令和4年度非常勤講師計画について

資料3に基づき説明があった。16番の講師及び日程が確定したこと、51番は新規の講師であることから、教務委員会で事前に審査を行ったとの説明があった。特に意見等はなく、提案通り承認された。

#### [報告事項]

##### 1. 教務委員会

###### (1) 令和4年度3月修了博士論文予備審査結果報告について

資料4に基づき対象の2名について説明があった。1人目は主査：准教授、2人目は主査：教授である。両名とも本審査に進むことが報告された。

(2) 令和5年1月～4月の行事予定について

資料5に基づき説明があった。特に教務関係の行事について、日程等を確認してほしいとの依頼があった。

(3) 第78回全学教務協議会について  
(審議事項)

・令和5年度授業日程(案)について

資料6に基づき説明があり、2月13日(火)をみなし月曜日とする修正案にて確定したことが報告された。

[その他]

1. 学生生活委員会

(1) 令和5年度大学入学共通テスト実施に伴う学生の入構禁止措置  
及び学内施設の利用制限等について

令和5年度の共通テストが令和5年1月14、15日及び追試験が1月28、29日に実施されることに伴い、1月13日～15日、1月28～29日について学内への入構制限が実施されることが報告された。

2. 研究科長

(1) 大学院課程認定について

大学院の課程認定作業が終了し、すべての研究科で認められたことが報告された。

## ◆教員会議◆

[審議事項]

1. 学類長

(1) 学類長候補適任者の選出について

最初に、学類長から予備選挙後の意見聴取期間において特に意見は出されなかったことが報告された。続いて、予備選挙にて選出された6名から候補適任者を選出するため、単記無記名で投票を行った。投票の結果、得票数上位2名(25票、7票)を学長へ報告することとなった。

2. 入学試験委員会

(1) 令和5年度学校推薦型選抜合否判定について

1月26日(土)に実施された標記入試について、回収資料に基づいて説明があった。募集人員23名に対し、志願者35名、受験者35名があり、序列上位23名を合格としたいとの提案があった。特に異論はなく、提案通り承認された。なお、合格者の内訳として、男子9名、女子14名であること、福島県内が13名、県外が10名であることが追加情報として補足された。

3. 教務委員会

(1) 卒業研究に関する取扱要項の一部改正について

資料7に基づき説明があった。改正内容は、文言修正(取得→修得、専攻→コース)及び卒論提出において、従来の卒論提出カードを廃止し、代わりにGoogleフォームにて手続きを行うことに伴うものである。特に異論はなく提案通り承認された。

4. 将来構想検討委員会

(1) 共生システム理工学類の入試改革の方向性について

最初に、学類長から前回の教員会議後にメールで出された意見の紹介があった。続いて、資料8に基づき前回からの変更点について説明があった。その上で、まず総合型選抜及び学校推薦型選抜について質疑

応答が行われた。

続いて、一般選抜入試についての質疑応答が行われた。議論を経た後、提案通りの方向性で検討することが承認された。

#### [報告事項]

##### 1. 学類長

###### (1) 令和4年度昇級区分該当者について

プロジェクト投影により該当者の紹介があった。特定職員については、昇給区分Aが2名、同区分Bが9名、一般職員については昇給区分Aが1名、同区分Bが3名である。また、勤務成績が良好でない職員が複数名いたことも合わせて報告された。

###### (2) 保護者との懇談会の報告について

10月29日(土)に実施された懇談会のアンケート結果について、資料9に基づき報告があった。

###### (3) 来年度の特任教員について

来年度の特任教員について、新規の特任Aとして教授1名、継続の特任Aとして教授2名がそれぞれ2年間認められたことが報告された。また、昇任人事については人件費ポイント制に基づく学類教授ポスト

(28名)を超えているため現段階では承認されていないが、引き続き承認を認めてもらえるようお願いしていくとの発言があった。

##### 2. 教務委員会

###### (1) 卒業論文の提出について

資料10の内容が学生向けに掲示されるとの報告があった。

###### (2) 卒業時アンケートの実施について

資料11の通り、今年も例年通りアンケートを実施するとの報告があった。

###### (3) 第78回全学教務協議会について

###### (審議事項)

###### ・「授業欠席に関する取り扱い」の改正について

資料12の通り、「社会教育実習」を新たに追加することが報告された。合わせて、申請書の書式も一部変更されることが報告された。申請書の上部に追加された文言(欠席した科目の次回の授業日までに提出すること)については、従前の書式と混在していることから、担当教員の裁量で判断してほしいとの付言があった。

###### (報告事項)

###### ・令和5年度以降入学生の基盤教育履修基準表の改訂について

資料13に基づき説明があった。DS科目の必修化、単位数削減、及びインターンシップの削除、の3点が改訂されること、2022年以前の入学生への対応についても記載されていることが報告された。

###### ・Lポートフォリオを活用した卒業時DP評価の実施について

研究科委員会開始前に標記の説明会を行ったため、改めて説明することは控えるとの発言があった。

###### ・令和4年度前期成績分布の公開について

例年通り、12月1日から12月31日の期間において成績分布が公開されるとの報告があった。

#### [その他]

## 1. 大学入学共通テストについて

1月14日（水）の午後に標記説明会があり、事前配布した資料の大学独自の部分にシールを貼付する作業があるが、今年度は該当部分のpdfを用意してあるので、適宜使用して欲しいとのアナウンスがあった。

### ◆教育研究評議会◆

○第390回（11月22日開催）報告

#### 【審議事項】

（1）大学院の改革について【資料1】

冒頭にて説明したため省略

（2）大学院改革により生じる学内組織運営における変更等について【資料2】

冒頭にて説明したため省略

（3）令和5年度基盤教育履修基準表の改訂について【資料3】

履修基準表の改訂については意見聴取となっているため、意見がある場合には1週間程度で学類長宛てに出してほしいとの依頼があった。

#### 【報告事項】

（1）令和4年度収支見込等について【資料4】

光熱費の高騰や今後の見込みについて説明があった。この状況を踏まえると、令和5年度の配分額について一律20%減は避けられないとの付言があった。

（2）令和4年度第2次補正予算の伝達について【資料5】

文科省から補正予算の伝達があり、光熱費に関する配分（教育・研究基盤維持経費；79,641千円）、地震に関する配分（国立大学法人設備災害復旧経費；69,091千円）、設備に関する配分（教育研究基盤の強化等；132,300千円）がそれぞれ措置されたとの報告があった。

（3）令和5年度科研費申請状況について【資料6】

新規104件（昨年より8件減）で申請率が55.9%（昨年より3.0ポイント減）であることが報告された。また、学類ごとに申請状況がグラフ化されているので確認してほしいと付言があった。

（4）福島大学ネットワンシステムズ奨学金基金（給付型奨学金）の設置について【資料7】

本学が全国6大学の1つに選定された。年間500万円×4年間で、大学院生が対象となることが報告された。